

減らそう犯罪 通信

平成16年 11月号

発行・編集

広島県警察本部
減らそう犯罪安全なまちづくり推進室
〒730-8507
広島市中区基町9-42
TEL 082(228)0110
FAX 082(222)7902

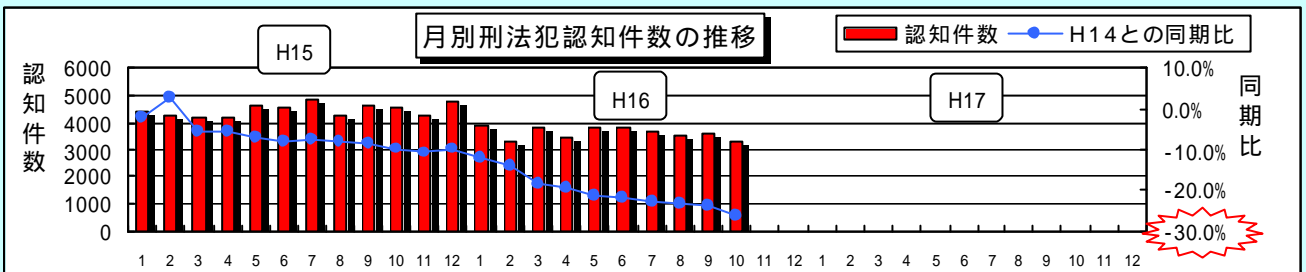
統計資料
1 2 3 4 5 6 7

広島県内の犯罪情勢

目標：刑法犯認知件数を3年間で3割削減
(H14 3割減 H17)

毎月、下表でH14各月末の認知件数との比較を表していきます。

	刑法犯 認知件数	身近な 犯罪	身近な犯罪の内訳(抜粋)									詐欺
			自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	ひったくり	車上狙い	自販機狙い	侵入強盗	侵入盗	性犯罪	
H16.1~10	36493	23278	298	2145	6766	552	3301	1527	21	3946	257	1680
H14.1~10	49364	36193	352	4776	9213	607	4395	4949	33	5668	298	835
増減率	-26.1%	-35.7%	-15.3%	-55.1%	-26.6%	-9.1%	-24.9%	-69.1%	-36.4%	-30.4%	-16.9%	+73.9%



お知らせ

パトロール車両に青色回転灯を装備可能に!

12月1日から、一定の条件を満たした自主防犯パトロール用の自動車に青色回転灯を装備することができます。警察署等への申請が必要で、詳細については12月号でお知らせします。



「減らそう犯罪」をテーマに電子会議室 開設!

「びんご地域づくりフォーラム」のホームページでは、「減らそう犯罪!安全・安心なまちづくり」などをテーマとしたインターネット上の会議室が開設されています。(～2/28) あなたも犯罪を減らすためのアイデアや意見を発言してみませんか?

ホームページアドレス <http://bingo.sky-net.or.jp>

防犯ボランティア講習会を順次開催

地域安全推進指導員、職域安全推進連絡員、地域安全推進員の方を対象とした講習会を順次開催しています。自主防犯活動に興味のある方も自由に参加できますので、ふるってご参加ください。

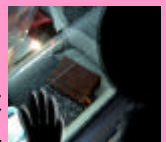
11/20(土) 13:30～ 椿会館(呉市中央)

11/27(土) 13:30～ 三次文化センター

12/4(土) 13:30～ 福山すこやかセンター

犯罪情報官インフォメーション

10月末現在、広島県内で車上ねらいは3,301件発生し、そのうち1,473件(45%)は、施錠をしていない車両が被害にあっています。短時間の駐車でも油断は禁物です。特に、昼間の道路駐車やコンビニでは、無施錠での被害が多くなっています。車内にカバン等を放置せず、車から離れるときは、「キーを抜いてドアロック」をお忘れなく!特に、座席など見えるところにカバンや上着を置いておくと、カギをかけていてもガラスを壊され被害にあうケースもあります。悔しい思いをしないためにも車内に貴重品等は残さないことが大切です。



われらに続け! ~活動のご紹介~

薬物乱用防止コンサートを開催～安佐北区

11日6日、安佐北区民文化センターで少年補導協会員の方々などの呼びかけにより、青少年による薬物乱用防止コンサート「Yes Our Life!」が開催されました。ステージに上がる子どもたちは緊張する～とはしゃぎながらも、いきいきと自分の持ち味を出しながら頑張っていました。陰ながら子どもたちを支えるボランティアの地道な活動が実を結んだ成果です。



今すぐアクセス! 県警ホームページ <http://www.police.pref.hiroshima.jp/>

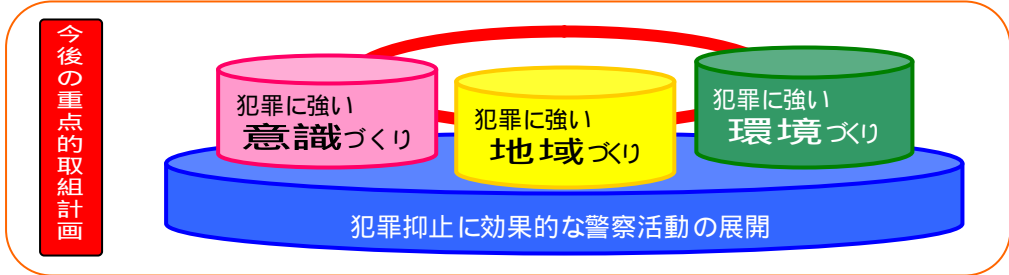
ひろしま犯罪情報ダイヤル 082-223-3746 ふくやま犯罪情報ダイヤル 084-921-3746

第3回広島県「減らそう犯罪」推進会議

とき：平成16年10月18日(月)15:00～16:00 ところ：KKR広島



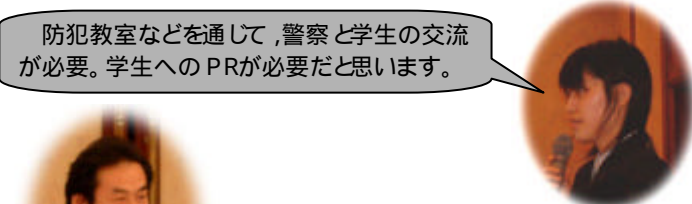
「減らそう犯罪」ひろしま安全なまちづくり推進条例に基づき設置された広島県「減らそう犯罪」推進会議(会長藤田県知事)が開催されました。各委員により今後の重点課題等について活発な協議が行われ、「犯罪に強い意識づくり」,「犯罪に強い地域づくり」,「犯罪に強い環境づくり」を3本柱とする**今後の重点的取組計画**が承認されました。



上田委員(市長会)

東広島市では、「わがまちを守り隊」が7つの地域で活動,自主防犯活動の支援,小学校への防犯ブザー助成や緊急雇用対策事業によるパトロール要員による警戒などを実施しています。

ボランティア活動にも,時間,参加している人の年齢等によりできることとできないことがあります。
空き交番は,民間交番として活用してはどうでしょうか。



菅井委員(学生代表)



吉川委員
(少年補導員連絡協議会)

ボランティア活動にも限界があり,架空請求の捜査などは警察に頼らざるを得ないため,警察予算を増やしてほしいと思います。



細田委員
(日本ガーディアンエンジェルス)

自主防犯ボランティアの育成・支援が今後の課題であり,彼らの情報交換の場が必要です。



小川委員(大学教授)

自動販売機は無人であり,モラル低下による犯罪が懸念されます。



青木委員(報道機関)

交番のお巡りさんは地域のアンテナ。空き交番を解消していただきたいと思っています。



川本委員
(公立学校長会)

小中高校においてポイントを掴んだ犯罪防止教室を継続して開催していきたいと思っています。



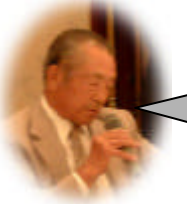
堀米委員
(自動販売協会)

本通りなどできれいなまちづくりの推進を通して割れ窓理論を展開しています。



望月委員
(警察署協議会)

地域の住民が立ち上がって色々な行動を起こすことが大切だと思います。



大之木委員
(住宅地産業五団体協議会)

「警察予算」と「治安の回復率」との相関データを示せば,県民の理解も得られやすいのでは。人員体制・施設・ハード面の整備,法体系の整備等が必要だと思います。



山本委員(学生代表)

安佐南区の「減らそう犯罪」モデル事業の取組が県下に広がるよう頑張りたいと思います。



宮本委員
(女性医師の会)

会議の発言要録や配付資料などは県警ホームページに掲載されていますのでぜひご覧ください。
<http://www.police.pref.hiroshima.jp/041/herasou/kaigi/kaigi.html>